

所属	農学生命科学部	氏名	石塚哉史・高梨子文恵・成田拓未
課題名	アジアにおける青森県産りんご・りんご加工品のブランド展開の現状と課題に関する実証的研究		
<p>1. 概要</p> <p>本研究の目的は、青森県産りんご・りんご加工品の輸出マーケティング戦略の現段階と課題を解明するために、アジア諸国を対象に新規販路開拓並びに（既存の）販路確保に係る現状分析を行う。とりわけ、輸出相手国・地域の現地市場において青森県産りんごがブランドマーケティング（ブランド・プレミアム、ブランド・サプライ、ブランドコミュニケーション）を実践できているのか、否かを検討していくとともに、りんご輸出が与えるバリューチェーン（価値連鎖）の実態についても生果とりんご加工品（とりわけ、りんご果汁）双方の分析結果を通じて、初歩的な分析を試みる。</p> <p>本研究は、戦略Ⅰの取り組み内容の（6）で示されている「海外市場動向を踏まえた地域産業の活性化への提言」の①輸出産業の実態調査と産業振興策への提言および②ブランド化による市場開拓に該当するプロジェクトと想定して実施している。現在取り組んでいる分析が順調に推進していけば、りんごに代表される地域農業のマーケティングを検討する上で販路確保、新規需要創出に関連する有益な資料の蓄積につながる事が予測されよう。</p> <p>それに加えて、本調査・研究の活用方法として、研究成果を研究期間終了後に学術雑誌のみならず、一般市民向けの雑誌、本学の公開講座、農業関連機関・団体等へ講演や協力要請依頼は可能な限り対応していくことを計画しており、現時点においても下記の通り農業経済関連学会シンポジウムをはじめ、関連事業者や一般市民への講演等についても対応しているところであるが、今後は更に範囲を広げて対応することによって、着実に成果を公開していくことを心がけたい。</p> <p>さらに、プロジェクトメンバーの中には、青森県および平川市、弘前市等での各種委員会・審議会等で委員を務める者も増えており、等地域への提言も行える体制も構築しつつある。</p>			



図 1



図 2

2. 画像の説明

図 1 台湾の卸売市場での青森県産りんご販売状況（台北市）

図 2 ベトナムの量販店での青森県産りんご販売状況（ホーチミン市）